

# 平成26年度学校自己評価（実施）

武蔵野音楽大学附属高等学校

教育目標	建学の精神として「和」のこころを、教育の方針として「音楽芸術の研鑽」と「人間形成」を掲げ、確かな技術の訓練、豊かな知識の吸収とともに美を鋭く感じとることのできる感性と創造性を培う。さらに、変化の激しい社会の要請に柔軟に対応でき、協調性に富むすぐれた人格の育成を目指す。
実践目標	「3P主義」（礼儀：Propriety）、（清潔：Purity）、（時間厳守：Punctuality）の実践

評価の基準	
A	達成（9割以上）
B	概ね達成（7割以上）
C	普通（5割以上）
D	不十分（5割以下）

指導・実施計画			実施・評価・課題		
評価項目	指導・実施内容・方策	評価の指標	実施・達成状況等	達成度	次年度への課題・改善
1 学習活動 (1) 学習指導	・音楽科として特色ある教育課程を編成して、11科目の専門教科・科目を展開し、生徒の進路を保障する。指導は専任教諭のほか、附属高校の特色として大学教授等があたる。また、創立時より一般教科の必要性を強く打ち出し、週6日の授業を展開し、総合的な学習の時間を含め全105単位を履修する。	・音楽科の高校としての特色を十分に生かし、生徒の進路に対応した教育が展開されているか。	・きめ細かな専門教科、実技指導および一般教科指導を展開し、学習の成果及び実技の向上が得られた。	A	・専攻実技は早朝、放課後の練習を徹底させ、専門及び一般教科の予習、復習の習慣化を図る。
	・新たに選択科目を取り入れるとともに、一部の科目で習熟度別指導を導入する。	・教科の目標は達成できたか。	・選択科目として合唱、弦合奏・管打合奏を設定し、年2回の発表の場を設定し、教科の目標は十分に達成できた。	A	・新規選択科目の導入について研究する。
2 特別教育活動 (1) 儀式的行事	・本校の特色を生かし、入学式、卒業式ともにバウハザールにおいて、パイプオルガンの奏楽、大学生によるファンファーレの演奏の後、厳粛な中に式を挙げる。また、始業式・終業式等の校長訓話において、本校の教育目標や「3P主義」の教育実践を示す。	・本校の基本理念の徹底を計るとともに、実行することの大切さが認識できたか。	・校長訓話等を通して、教育目標や「3P主義」の教育実践の徹底を図った。	A	・儀式的行事に対する臨み方を認識させ、その意義をさらに理解させる。
	(2) 学芸的行事 ① 校外演奏会	・第18回目となる「在校生と新卒業生によるコンサート」を王子ホールにて開催し、在校生10名、新卒業生3名による演奏を披露する。	・在校生及び新卒業生の演奏が十分に披露できたか。	・ピアノ、声楽、フルート、サクソフォーンによる表現力豊かな演奏が披露できた。	A

②ミュージックフェスティバル	・本校の特色を十分に生かした文化祭を実施する。1年生はクラス発表とし、2・3年生は各自の実技専攻によるアンサンブルの発表とする。また、ホールでの演奏のほか、授業発表や、展示・演奏・演舞を披露する。	・研究・発表及び演奏・演舞等について日頃の成果が十分に披露できたか。	・音楽科の特色を生かした発表及び演奏等が展開できた。また、生徒の専攻実技の向上に結び付き、大きな達成感が得られた。	A	・事前指導を一層徹底し、演奏レベルの向上を図る。
③ドリームコンサート	・文化祭後にピアノ・デュオ、合唱、弦合奏、管打合奏、アンサンブル等の発表の場を設ける。	・日頃の練習の成果が十分に発表できたか。	・練習を重ねた結果、各発表とも立派な演奏ができ、達成感・成就感を得ることができた。	B	・練習の効率化を図り、さらに充実した発表を目指す。
(3) 体育的行事 体育祭	・各係を中心に計画・準備を行い、5月2日に全11種目で実施する。小規模な高校なので一人2～4種目に出場し、大縄跳び、対抗リレー、綱引きにおいては、特に熱戦が予想される。	・事前準備や各係の役割をもとに、計画どおりに実施できたか。	・体育係・体育祭係を中心に話し合い、当日は各係のリードのもと、新種目を含め計画通り実施された。	A	・体力の更なる維持、向上を目指し、種目の充実を図りたい。
(4) 旅行・野外活動的行事 ①校外学習	・集団行動に関する教育および自然に親しむことを目的に、1・3年次が5月に校外学習を実施する。各グループによる飯盒炊爨を行う中で、キャンプ場でのマナーも指導する。	・事前の計画に沿って、各グループによる飯盒炊爨が目的通り展開できたか。	・施設内の炊事用具を借用し、炊事、食事、片付けまで計画通りに展開することができた。	A	・特に問題はなかったが、事前指導の徹底を図り、更に有意義な行事にしていきたい。
②修学旅行	・2年次の5月に実施し、平和学習、古典芸術の体験および鑑賞を通して豊かな情操を育てるとともに、集団行動を通じて社会性を養い、教養をより高める場とする。	・学習活動、体験学習および鑑賞を通して十分に成果が得られたか。また、集団行動を守ることができたか。	・神戸、広島、大阪、京都の自然と文化に接し、古典芸能鑑賞・体験学習を通して豊かな情操を養い、見識をより高めることができた。被爆ピアノによるコンサートを実施した。	A	・事前・事後の指導の充実が、教育効果を高めた。教科との連携を一層深め、指導をさらに強化する。
(5) 鑑賞行事 ①芸術鑑賞	・7月に新国立劇場にて歌劇「蝶々夫人」を鑑賞する。事前指導を徹底し、音楽総合芸術としての歌劇について学習する。	・事前学習を含め、歌劇の歴史や作品について理解できたか。	・音楽面での分析、原作、モデル、文化、産業などの時代背景を、それぞれの教科担当者が指導した。	A	・深い理解度は、事前指導の質によって決定されるので、この重要性を継続していきたい。
②芸術鑑賞	・10月に西洋美術館にて美術作品を鑑賞する。事前指導を徹底し、美に対する意識の高揚を図る。	・鑑賞を通して作者の意図する表現が理解できたか。	松方コレクション（近代の絵画・彫刻等を中心とする）を鑑賞する。	A	・各学年が、数班に分かれて美術ボランティアの説明を受けた。
③音楽鑑賞	・12月に武蔵野音楽大学管弦楽団・合唱団演奏会が開催され、ベートーヴェン作曲交響曲第9番「合唱」を鑑賞する。鑑賞マナーについても事前に指導する。	・作曲家と演奏曲が十分に理解できたか。	・交響曲第9番「合唱」を鑑賞することで作曲家の偉大さと作品の魅力を再認識できた。	A	・演奏会での鑑賞マナーは改善されているが、さらに徹底するよう指導を継続する。

3 生徒指導	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒の健全育成及び基本的生活習慣の確立の視点に立ち、定期的に登校指導、交通街頭指導、放課後の巡回指導を実施する。</li> <li>・外部講演依頼をし、情報セキュリティについて学習する。</li> <li>・生徒による週番活動は、年間14回実施し、昼休みと放課後に教室を巡回するとともに練習室の清掃を行う。また、エコに対する指導も実施する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・決められたルールに則り高校生活を送れているか。</li> <li>・インターネットにおけるマナーやモラル、スマートフォンの扱い方等理解できたか。</li> <li>・教室の整理整頓や練習室の使用について意識の向上が図られたか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・制服の着こなしをはじめとする基本的な生活習慣の意識向上が見られ、生徒指導全般にわたり成果が認められた。</li> <li>・週番活動により、教室と練習室の整理整頓および消灯についての意識が高まった。</li> </ul>	<p style="text-align: center;">A</p> <p style="text-align: center;">A</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・継続的に指導を続けることで、さらなる意識の向上を目指す。</li> <li>・今後さらに整理整頓やエコ対策の指導を強化する。</li> </ul>
4 進路指導	<ul style="list-style-type: none"> <li>・進路希望調査を踏まえて進路相談を実施する。また、LHRで各学部・学科の特色について説明し、進路に対する意義付けを行う。</li> <li>・3年生に新推薦制度について、具体的な内容を伝える。4月に附属高校推薦に関する手続き等について、詳細を説明する。また、年間を通してきめ細かな進路相談を実施し、所期の目的を達成できるよう指導する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・大学の各学部・学科について理解できたか。また、進学に対する意識が高まったか。</li> <li>・推薦制度および入試の手続きは理解できたか。また、全員の進路指導は適切であったか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各自が将来を見据え取り組んだ結果、ほぼ全員が希望する進路に進めた。また、より高い目標に挑む生徒も数名いた。</li> <li>・今年で3年目となる大学への新推薦制度で、希望者全員が合格を果たした。各自が入試内容をよく理解し努力した。</li> <li>・二学期期末考査終了後より卒業式までの間の自宅学習を取止め、授業を行った。</li> </ul>	<p style="text-align: center;">A</p> <p style="text-align: center;">A</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・音楽を専門として学ぶことの意識付けを重視する。</li> <li>・入学時より、学業・生活面での指導を充実させる。</li> <li>・大学の各学科の内容や特性を早い時期に伝える</li> <li>・進路確定後の学習指導の充実を図る。</li> </ul>
5 安全管理 学校環境の点検	<ul style="list-style-type: none"> <li>・校内巡回を通して環境点検を定期的実施する。内容は照度計測、飲料水の管理、通学時及び学校行事前の安全点検とする。また、個人の安全管理として事故防止教育に取り組む。</li> <li>・夏期休業中に校舎の耐震工事を行う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・校舎内、学外活動における環境点検は適切に実施できたか。</li> <li>・安全に配慮する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・環境点検の項目に黒板の色彩についての項目を加えた。その結果、色調の悪い黒板を、使用していない教室のものと入れ替えた。</li> </ul>	<p style="text-align: center;">A</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・次年度は大学生が高校校舎を使用する頻度が高くなるため、改善点は早めに見つけ、報告する。</li> </ul>
6 保健指導 (1) 疾病予防  (2) 相談活動	<ul style="list-style-type: none"> <li>・疾病に対する注意を喚起するために、「保健室だより」を毎月1回発行する。また、学校行事の事前健康調査を行い、生徒の既往歴や治療状況を把握して、行事中の事故を未然に防止する。</li> <li>・クラス・学年を超えた交流を図り、生徒間で励まし合い、支え合って、より豊かな学校生活を送るための場を設定する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「保健室だより」の内容が生徒に反映されたか。また、健康調査は計画どおり実施できたか。</li> <li>・健康相談、カウンセリングが適切に行われているか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事故率は低下。救急法の講習として、AEDの使用法と心肺蘇生法を講師を招いて実施した。</li> <li>・心に寄り添う必要のある生徒もいたが、相談活動により学校生活に復帰した。</li> </ul>	<p style="text-align: center;">A</p> <p style="text-align: center;">B</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>AEDの講習会は、生徒も真面目に取り組んでいたため、講習会を充実させたい</li> <li>自己管理能力の低い生徒が増えたため、さらなる支えが必要となる。</li> </ul>

7 学校財務	・本校は、武蔵野音楽大学および3つの幼稚園とともに学校法人である武蔵野音楽学園の1部門として位置づけられ、法人全体として一体運営されている。武蔵野音楽学園は文部科学省認可法人として毎年、学校法人会計に基づいた決算を行い、会計監査法人の監査を受け、その概要を公表している。平成26年度の決算については、平成27年7月より当学校法人のウェブ・サイトに掲載する。	・健全な財務状況が展開されているか。	・学校法人全体の「帰属収支差額」は支払超過となったものの、借入金もなく、財務状況は引き続き良好かつ健全である。	B	・27年度以降も収入と支出の均衡が計られるよう努力する。
8 職員研修 (1)全教員会議	・年度当初に学園理事長・校長の講話を受ける。その後、各教科・専攻別に分かれ専攻実技の指導及び教育内容全般について協議を行う。	・年間を通し教育活動がスムーズに展開できるよう周知できたか。	・講師を含む指導者が一堂に会し、指導内容の確認が十分にできた。	A	・指導上の手続きのさらなる徹底を図る。
(2)高校研修会	・学年末に教職の研修会を行い、校務活動全般について総括を行う。	・さらなる教育活動推進のための具体的な対応策が示せたか。	・校務運営方法、生徒募集、新教育課程の実施に伴う授業展開等、多くの具体策が示された。	A	・多様な教育状況に対応するため、習熟度別学習・および選択科目の拡大を検討する。
9 広報活動 (1)オープンキャンパス	・オープンキャンパスは、入間キャンパスで6月22日(日)と11月16日(日)に開催し、江古田キャンパスは8月25日(月)に開催する。	・生徒・保護者に対し教育内容・入試全般について周知できたか。	・ガイダンスでは、本校の概要及び教育活動、入試内容の変更を周知できた。	B	・説明会の開催時期については調整を要する。
(2)受験講習会	・受験講習会は、次の2回を開催する。①夏季7月28~30日 ②冬期12月24~26日。	・専攻実技指導および入試に関わる個人相談は十分に対応できたか。	・参加者に対し丁寧な実技指導を展開し、個人相談にも対応した。	B	・講習会は、日程の組み方等さらに検討を要する。
(3)中学生のための音楽基礎講座	・今までの入試相談会を改定し、中学生対象の音楽基礎講座を開催する。また、当日は体験レッスンを行う。14年4月から15年1月まで全12回実施する。	・中学生に対し、丁寧な対応のもと、各講座が展開できたか。	・個別相談のほかに受験に必要な学習法を説明し、意識の高揚を図った。	B	・ワンポイントレッスンや講義内容のさらなる充実・改善を図る。
(4)学校説明会	・県外での学校説明会は、大学同窓会とタイアップし、大学との合同で5~6月に全国7箇所で開催される。高校はその中の6箇所(長野、名古屋、札幌、三島、福岡、水戸)に参加する。	・生徒・保護者に対し、本校の教育内容・学習状況・施設設備等、十分に周知できたか。	・教育活動及び入試内容を説明し、本校の特色や入試状況を十分に周知することができた。	A	・各県同窓会員との情報交換は有意義であり、今後さらに大学同窓会と連携した広報活動の充実を図りたい。